

令和5年度 学校評価のお知らせ



高等部作業製品販売会

1月23日・24日・25日

山形県立楯岡特別支援学校

令和5年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校

1 令和5年度学校評価アンケートの実施について

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉の実施

保護者アンケートは、WEBを活用したフォームへ直接入力していただいた。なお、WEBでの回答が難しい場合は、アンケート用紙を配付し、記入後に封をして提出いただき、学校評価委員が直接開封して集計を行った。

(2) アンケート項目については、経年における変動が読み取れるように、これまでと同様の内容（※一部表現を変更）を継続して実施した。

(3) アンケート結果をもとに、校長を含めた学校評価委員会で、令和6年度に向けての考察と改善策を提案し学校運営に生かせるようにした。

(4) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉と同様の項目を学校自己評価〈教職員アンケート〉に設け（項目1～10が同じ）比較できるようにしている。

(5) 結果は保護者にお知らせするとともに、学校評議員会でも報告し、助言を受けるようにした。

2 アンケート結果

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)【別紙集計結果参照】

① アンケートに際しては、保護者への依頼文書に加え、締切前に担任が呼びかけるなどを行い、104家庭中83家庭（80.8%）の回答率であった。

② 全体の平均値は昨年度の3.52に対し、今年度は3.51であり、0.01ポイント下がっている。

③ 10項目中、**4・7・9**の3項目で昨年度より評価の向上が見られた。

番号	設 問 内 容	評価	4段階+3段階：％
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。	3.58	97％
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	3.73	98％
9	お子様にとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。	3.53	94％

③ 昨年度の評価を下回ったのは**1・2・3・5・6・8・10**であった。

番号	設 問 内 容	評価	4段階+3段階：％
1	お子様は、学校に行くことを楽しく思っている。	3.37	91％
2	学校や学級担任はお子様の教育について、よく話を聞いてくれる。	3.58	94％
3	学校や学級担任は、お子様の学校での様子をよく伝えてくれる。	3.61	95％
5	お子様にとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。	3.49	96％
6	学校は、お子様や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	3.45	94％
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	3.61	97％
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。	3.17	84％

4段階+3段階の％がほぼ90％の数値であり良好な評価と捉えることができるが、数値が下がり90％未満となっている**10**が今後の課題である。

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)【別紙集計結果参照】

- ① 全体の平均値は昨年度の3.29に対し、今年度は3.32でありわずかだが上がっている。
- ② 昨年度よりも、個人では9項目、全体では11項目において平均値が上がっている。
- ③ 全ての項目が3.0ポイント以上となり、特に以下の5項目が個人・全体ともに昨年度より高く、平均値も3.4以上で、教職員が力を入れている点と言える。

番号	設 問 内 容 (個:個人、全:全体)	評価
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防 止・ケース会も含む。	(個) 3.46 (全) 3.41
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課 題を共有している。	(個) 3.52 (全) 3.56
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿に ついてよく伝えている。	(個) 3.48 (全) 3.52
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	(個) 3.41 (全) 3.46
14	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなさ れている。	(個) 3.52 (全) 3.41

- ④ 昨年度の評価を個人・全体共に下回ったのは13・15である。また、10については、全体は昨年度を上回ったものの、個人・全体共に低い傾向がある。

番号	設 問 内 容 (個:個人、全:全体)	評価	4段階+3段階: %
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解 や教育課程で一貫性のある指導ができています。	(個) 3.09 (全) 3.04	94% 87%
15	行事の精選や会議の運営等、多忙感や負担感の解消に向けた取り組 み等の働き方改革を推進している。	(個) 3.00 (全) 3.00	82% 87%
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされ ている。	(個) 3.04 (全) 3.19	92% 96%

3 考察

- (1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉と学校自己評価〈教職員アンケート〉の共通項目について比較すると、項目1、2、3、5、8について、教職員の評価は昨年度よりも上がっているが、保護者の評価は下がっており、両者で異なる結果となっている。コロナも5類に引き下げとなり、学校行事や校外学習等の実施に伴い、児童生徒の学習内容の充実を図ってきたという教職員の意識に対し、クラスターの発生等による保護者の不安感等がまだまだ払拭されておらず、担任等との対話などから子供の学習の様子をもっと知りたいという思いが表れているのではないかと伺える。項目4、7、9は、保護者の評価が向上しているのに対して教職員は全体の評価は上がっているものの、個人の評価はわずかだが下がっている。より良いものにしたという個々の課題意識の表れと思われる。
- (2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉の項目15は、一昨年度の評価において課題とされ、昨年度、学校文集の廃止等により評価が向上した項目である。今年度、個人・全体共に昨年度を下回った。コロナ明けにより、以前の活動内容や学習方法を参考にしながら、復活させたり新たに検討して実施したりしたものもあり、負担感や多忙感につながったものと思われる。

4 改善策

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉

1・2・3・5・6について：個別の教育支援計画・個別の指導計画における適切な目標や学習内容の設定に基づき、児童生徒がより良く学ぶことができる授業を実践していく。また、保護者に学校生活の様子をお知らせしたり、進路について丁寧に相談したりして、信頼関係を築いていく。

8について：基本的な感染症対策の継続とヒヤリハット事例の共有などをおして安心安全を確保しながら、児童生徒のより良い学びに向けた学習を推進していく。

10について：コロナも5類に移行し、対外的な取り組みを進める中、居住地校交流や学校間交流等においては、学校では見られない児童生徒のよい姿が見られたことも多くあった。中学部の空手の学習や高等部イオン販売会がメディアに紹介され、本校のことを知っていただく良い機会となった。今後も活躍できる機会の確保に努め、児童生徒が頑張る姿や児童生徒の学習の様子等を情報発信していく。

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉

10について：(1)の「10について」に同じ。

13について：児童生徒の指導・支援について学部間で常に情報共有を図って対応するとともに、授業を見合うことをとおして、他学部を知る機会を設ける。主任会や分掌部間の話し合いや縦割りグループでの経営改善会議を設ける。一貫性・系統性のある指導について検討・実践していく。

15について：働き方改革を更に推進し、個々の業務に当たる時間を確保するなど、具体的な手立てを教育課程や学校教育計画に示していく。

5 まとめ 『めざす学校像』実現に向けて

(1) 「児童生徒にとって 来るのが楽しい学校」にするために

児童生徒が笑顔で登校する姿や元気に挨拶する姿を目指している。そのためには児童生徒一人一人にとって楽しい学習や真剣に取り組める学習を用意することが大切となる。保護者の協力を得ながら、個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実を図ると共に、系統性のある学習内容を実践していく。【項目1・5・9、(教)1・5・9・13】

(2) 「保護者にとって 安心して任せられる学校」にするために

保護者との直接的・間接的な対話や学習の様子の参観、学級だよりやホームページを活用した学習の様子のお知らせ等をおして、学校の取り組みや児童生徒の学習活動の見える化を推進していく。【項目2・3・4・6・7・8、(教)2・3・4・6】

(3) 「地域にとって 信頼して相談できる学校」にするために

特別支援教育における地域のセンター的機能として、地域の学校等からの相談や要望に応えられるように努めている。各要望に対応する際には、事前に研修部主催の検討会を行うようにしており、チーム楯特として対応する体制・意識づくりを今後も大切にしていく。学校や障がいのある児童生徒の理解推進を目指す情報発信が重要である。ホームページの活用や放課後支援施設への校長室便りの配付等の継続と児童生徒の学習の様子を発信する新たな取り組みを行い地域にとって学校が身近な存在となるよう努めていく。【項目10、(教)10・12】

(4) 「教職員にとって 働きやすく働きがいのある学校」にするために

児童生徒の成長や進路の実現等が、教職員の働きがいの大切な要素となる。働き方改革を推進し、児童生徒と向き合える時間を確保していく。また、児童生徒の学びが充実するよう、行事や校外学習はもとより、必要な学習や適切な実施方法を検討してカリキュラム・マネジメントを進め、PDCAサイクルで検討・改善していく。【項目(教)15】

令和5年度 学校関係者評価(保護者アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校

番号	設 問	0%20%40%60%80%100%	%				R5年度 平均	R4年度 平均
			4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子様は、学校に行くことを楽しく思っている。		51%	40%	6%	4%	3.37	3.56
2	学校や学級担任はお子様の教育について、よく話を聞いてくれる。		65%	29%	5%	1%	3.58	3.64
3	学校や学級担任は、お子様の学校での様子をよく伝えてくれる。		66%	29%	5%	0%	3.61	3.74
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。		61%	36%	1%	1%	3.58	3.40
5	お子様にとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。		57%	39%	2%	2%	3.49	3.50
6	学校は、お子様や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		54%	40%	2%	4%	3.45	3.46
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。		76%	22%	2%	0%	3.73	3.71
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。		66%	31%	0%	2%	3.61	3.64
9	お子様にとって意義のある交流学習、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。		60%	34%	5%	1%	3.53	3.39
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。		36%	48%	12%	4%	3.17	3.19
■ 4 よく当てはまる ■ 3 やや当てはまる ■ 2 あまり当てはまらない ■ 1 当てはまらない							3.51	3.52

※1 アンケートの実施期間は、令和5年11月17日(金)から11月24日(金)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)

※3 アンケートの回収件数は、83件(102家庭中)でした。

令和5年度 学校自己評価(教職員アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校

番号	内容		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	4%	3%	2%	1%	R5 (平均)	R4 (平均)
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。	個人												46.3	53.7	0.0	0.0	3.46	3.42
		全体												42.6	57.4	0.0	0.0	3.41	3.35
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。	個人												51.9	48.1	0.0	0.0	3.52	3.45
		全体												55.6	44.4	0.0	0.0	3.56	3.38
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。	個人												48.1	51.9	0.0	0.0	3.48	3.40
		全体												51.9	48.1	0.0	0.0	3.52	3.35
4	学習の足跡の掲示や参観の機会等が確保され、児童生徒の学習の様子が見えるようにしている。	個人												35.2	64.8	0.0	0.0	3.35	3.36
		全体												51.9	48.1	0.0	0.0	3.52	3.40
5	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・評価により、個に応じた「分かる」授業を実践している。	個人												22.2	77.8	0.0	0.0	3.22	3.15
		全体												25.9	70.4	3.7	0.0	3.22	3.18
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	個人												37.0	55.6	7.4	0.0	3.30	3.29
		全体												48.1	50.0	1.9	0.0	3.33	3.35
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境にしている。	個人												35.2	63.0	0.0	1.9	3.31	3.35
		全体												40.7	57.4	0.0	1.9	3.37	3.29
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	個人												40.7	59.3	0.0	0.0	3.41	3.40
		全体												46.3	53.7	0.0	0.0	3.46	3.35
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が、児童生徒にとって意義のある企画・運営になっている。	個人												25.9	68.5	5.6	0.0	3.20	3.31
		全体												33.3	59.3	7.4	0.0	3.26	3.24
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。	個人												9.3	85.2	5.6	0.0	3.04	3.15
		全体												22.2	74.1	3.7	0.0	3.19	3.15
11	校内研究による授業改善や自主研修、OJTに課題意識をもって取り組み、専門性向上を図っている。	個人												24.1	70.4	5.6	0.0	3.28	3.25
		全体												31.5	64.8	3.7	0.0	3.28	3.31
12	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。	個人												33.3	59.3	5.6	1.9	3.22	3.13
		全体												61.1	38.9	0.0	0.0	3.57	3.47
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができています。	個人												14.8	79.6	5.6	0.0	3.09	3.15
		全体												16.7	70.4	13.0	0.0	3.04	3.15
14	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなされている。	個人												53.7	44.4	1.9	0.0	3.52	3.36
		全体												42.6	55.6	1.9	0.0	3.41	3.27
15	行事の精選や会議の運営等、多忙感や負担感の解消に向けた取り組み等の働き方改革を推進している。	個人												20.4	61.1	16.7	1.9	3.00	3.13
		全体												14.8	72.2	11.1	1.9	3.00	3.09
平均																		3.32	3.29

■ 4:よく当てはまる ■ 3:やや当てはまる ■ 2:あまり当てはまらない ■ 1:当てはまらない